

情報システム・バックアップオフィス研究会 第2回 議事録

(敬称略)

1. 会合概要

- ・ 開催日 : 2008年10月2日(木) 16:00~18:00
- ・ 開催場所 : BCAO 本部 会議室
- ・ 進行役 : 大塚 純一 日本アイ・ビー・エム(株)(座長)
- ・ 議事録作成 : 池田 竜隆 (株)ワンビシアーカイブズ
- ・ 出席者数 : ____名
- ・ 配布資料

BCAO 標準テキスト追加資料

2. 議事内容

(1) 事務局報告関連

- ・ 研究会メンバー : 1名退会のお知らせ

【メンバー数】

登録済み研究会メンバー数	: 38名
座長・副座長	: 3名

研究会メンバー 計	: 41名
-----------	-------

- ・ 前回議事録(略)
- ・ 先月のイベント
 - 第4回月例講習会
 - 主任管理者テキストから標準テキストへの抜粋内容の説明
 - 中小企業BCPステップガイドの説明(有償コンサルルール)
 - 今後の予定
 - 10月10日 月例講習会&基本事項テーマ別研究会・意見交換会予定

(2) プレゼンテーション発表

- ・ 発表者 : 内山 豊和 様(日本アイ・ビー・エム株式会社 ITS事業SPG事業推進部BCRS&セキュリティサービス部 部長)

題名 : 「データ保護を実現するIBMソリューション」

概要 :

日本IBM様が提供している事業継続サービスについてのご紹介
データ保護の2つの企業(SOFTEK、ARSENAL)の買収により提供可能
となったソリューションについてのご紹介

質疑応答

Q：日本で企業内 PC のデータバックアップの市場はあるのか？

A：これから増えてくると思われる。多くの企業で、PC データの保護はユーザーまかせであり、ファイルサーバに保管していない危険な状況も多いと聞いている。また、法務・経理・総務などのレポートは、ファイナルデータではなくとも監査対象になりうる。このような状況により、企業内 PC のデータバックアップのニーズはあると思われる。

Q：リモート・データ保護サービスについて、OS は何が対象か？

A：Windows、Linux、AIX、HP-UX、Solaris などのオープン系 OS が対象。尚、DB については、Exchange、SQL はエージェントによるバックアップが可能である。Oracle、UDB については、はきだした Dump を吸い上げるようにしてバックアップを行う。

・ 次回以降のプレゼンについて

2008 年 11 月 6 日：ITIL (株)シー・エー・シー)

2008 年 12 月 4 日：BCP ビジネスの取り組み (株)NTT ファシリティーズ)

2009 年 1 月 9 日：提供サービスのご紹介 (株)パスコ)

(3) 当研究会の研究テーマについて

・ 「ガイドラインの比較研究について」

当研究会での位置づけ

ITBO 研究会に求められる役割

- ITBO としての提言
- ITBO としての認識を深め、提言に結びつける

(意見)

- > BO と IT の接点を意識すべき
- > IT 運用の立場としては、広域災害よりも障害対応が気になる
- > IT 運用者の視点だとシステムを運用する場所にのみ注意が行くが、IT ユーザーの視点に立ち、重要業務を継続させる場所 (証券会社のディーリングルーム等) としてのあるべき BO についてもガイドラインから研究すべき
- > あるべきガイドラインの姿と、あるべき IT・BO の姿の両方を検討すべき
- > リスク別 (広域災害と局地的災害) にあるべき姿を検討すべき

方針の設定

どのような基準で対象を選定するか

どういう切り口で整理をするか

(意見)

- > メジャーなものを取りあげたい
- > ITBO の見識高めるのに有用なものを取り上げたい

ガイドラインの選定

対象とするガイドライン案(以下 進め方に記載)

進め方

チーム分け(仮決め。出席者のみ記載、 はリーダー)

参加者全員が必ずどこかのチームに属し、コアメンバーは分散させること。

ITIL と ISMS については、今後の議論の中で必要あれば対象とする。

- 経済産業省「IT サービス継続ガイドライン」
(近藤隆一、矢ノ根俊之、吉川明人、木村義昭)
- 経済産業省「事業継続計画策定ガイドライン」

(現状希望者なし)

- 総務省「地方公共団体における ICT 部門の業務継続計画策定に関するガイドライン」

(間博之、山浦政弘、富田真一)

- BSI PAS77:2006

(羽石将士)

- 内閣府「事業継続ガイドライン」

(衣笠宗彦、杉野弘典、関根崇、池田竜隆)

実施方法

実施方法及びチーム分けは次回決める。実働も次回以降。自分のテーマに決めたガイドラインは次回までに見ておく。

(4) 今後の開催予定

- ・ 第3回：11月6日
- ・ 第4回：12月4日

以上